

山中・山東東京同窓会ニュース No.6<2009年7月31日配信>

発行 山形中学・山形東高東京同窓会

<http://www.uzen33.net/> E-mail:[admin.uzen33@gmail.com](mailto:admin.uzen33@gmail.com)



山形中学・山形東高東京同窓会の皆様 こんにちは  
梅雨が明けたというのに、はっきりしないお天気で体調も狂いがちですが  
実際は天気も、日本の政治もまだまだ梅雨状態の様相です、早くすっきり  
して、明日からの8月は蝉の声も、演説の声もほどほどに、爽やかな夏に  
なって欲しいですね。  
同窓会のほうは一足早く、“CHANGE”し新体制でスタートしました。  
長い間東京同窓会の為に活躍下さいました旧役員の皆様、有り難うござ  
いました。そして新役員・委員の皆様、同窓会の更なる発展の為に今後  
のご協力、ご尽力どうぞ宜しくお願いいたします。

--<目次>-----

- [1] [総会・記念講演会・交歓会の報告](#)
- [2] [畠山前会長の退任挨拶](#)
- [3] [青柳新会長の就任挨拶](#)
- [4] [奥田前幹事長の退任挨拶](#)
- [5] [会費納入のお願い](#)
- [6] [その他](#)

#### ◆ その1 ◆ 総会・記念講演会・交歓会の報告

さる7月2日(水)本年度の東京同窓会年次総会、記念講演会、交歓会が  
日本記者クラブ日本プレスセンター10階にて開催されました。  
雨が心配される中、110名を超える参加者で大いに賑わいました。

■ 総会においては、20年度の事業報告・決算の承認、21年度の事業計画・  
予算の承認、新役員の選出と議事が滞りなく進行、無事終了致しました。  
ご協力有り難うございました。

平成21年総会承認事項についてはホームページよりご覧いただけます。

● 20年度の事業報告・決算の承認、21年度の事業計画・予算の承認  
→ [予算の承認](#)

● 新役員紹介  
→ [新役員紹介](#)

■ 第2部は世界的な工業デザイナーである奥山清行氏の記念講演会でした。  
奥山氏(東高28回天馬会)の話聴きたいと参加された若いデザイン  
関係者も多かったようで、熱心に聴く姿は皆学生時代に戻ったようでした。  
自動車マニアなら誰もが一度は乗り回してみたいボルシェ、フェラーリなど多くの  
スポーツカーのデザインを手がけ、4年を区切りに、アメリカ、イタリア  
ドイツの国々に駆け回り、そして現在は日本発のデザインをふるさと山形を  
包んで世界に発信している様子、未来の車社会、電気エネルギーを利用した  
社会の変貌を都市デザインをも含めて過去、現在、未来をデザイン画を元にレク

チャーしてくれました。素晴らしい講演でした。  
現役の高校生にも聞かせたい、夢が持てる、元気が出る話でした。  
奥山清行氏の本が3冊出版されています。

(著書)

「フェラーリと鉄瓶」「伝統の逆襲」「人生を決めた15分、創造の10000分の1」

■ 交歓会には、奥山氏も参加されました。

講演を聴いて、急遽参加した方が多く、予想を上回る参加者だった事もあり、料理の手配が足りなくなり、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、随所で談笑の輪が広がっていました。

mixiを見て参加した方、同級生同士誘い合って参加した方と若い世代の姿も相当見受けられました。

畠山前会長が推進されていたタテ・ヨコの交流が良い形で進んでいる印象を受けました。

## ◆ その2 ◆ 畠山前会長の退任挨拶

「3年半を振り返って～御礼～」

平成17年11月に船山龍二会長（現顧問）から引き継ぎを受け、これまで会長を務めてまいりましたが、7月2日開催の総会をもって退任させていただくことといたしました。

前会長の「役員若返り促進」に倣い、私も3年を目処に交代のつもりでおりましたが、決算及び新年度事業計画について極力早期に付議すべきの方針から、総会開催時期を従来の11月から6、7月に変更いたしましたため、3年7ヶ月の在任をもって青柳桂一新会長に引き継ぎさせていただきました。

この3年余を振り返り、会員の皆様はじめ役員の皆様、母校・母校同窓会・県の関係者の皆様から多大のご支援をいただきましたことに、心から御礼を申し上げます。

母校の在校生が、かつての1学年300名から240名体制へと変わり、しかも女子生徒の割合が上昇したことにより、東京同窓会の会員数は就任当時の約4,000名から3,700名程に減少し、財政面・運営面にも様々な影響が現れてまいりましたが、「東京同窓会」は「ふるさと山形の歴史と文化を共有してきた多士済々の母校の人財が社会の各方面において広く長く活躍するための交流の場」であり、年次・年齢に関わりなく「参加したくなる同窓会」「参加してよかったと思える同窓会」として発展させていくことが何よりも大切であると思っております。

その基本は、先輩・同僚・後輩というタテの繋がりと同期を中心とするヨコの繋がり的发展充実させることにあると思っておりますが、関係役員のご尽力と会員の皆様のご理解・ご協力によって、Eメールによる連絡網の整備、ホームページの開設、「同窓会だより」の刷新、会費振込手続きの簡素化等を行い、若い会員の方々も次第に参加していただくようになりました。

青柳新会長のもと、委員会制を中心とする新体制が既にスタートしておりますので、東京同窓会のますますの発展のために、会員の皆様におかれましては、新執行部に対しなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

東京東濤会(山東10回・昭和35年卒) 畠山千蔭

## ◆ その3 ◆ 青柳新会長の就任挨拶

「新会長就任挨拶 抱負を語る」

さる7月2日の年次総会において畠山千蔭前会長から会長職を引き継ぎいただきました青柳桂一（東高17回六七会）です。

諸先輩が営々と継承して築いてこられた東京同窓会の伝統を踏まえつつ、

今後どのように改革を進め、どのような形で会員のためになる同窓会活動を推進すべきかを考えますと、その職の重責に身の引き締まる思いをいたしております。

ここ数年、私は微力ながら懇親会2006実行委員長、HP委員会委員長、副会長といった立場で同窓会活動に関わってまいりました。この間絶えず念頭にありましたのは、同窓会においては、同じ母校のDNAをもつ一人一人の会員、代を重ねる年次会、いろいろな特色あるOB会と正面から向き合い、通じ合うことができるような活動をしなければならないという思いでした。

今後もこのような視点を大事にして、さらに畠山前執行部が標榜した同期というヨコの繋がりと先輩・同僚・後輩といったタテの繋がりを基軸にした同窓会活動の考え方を継承発展することに努めつつ、多くの会員の方が同窓会の運営に参画し、多くの会員の方がすすんで同窓会の行事に参加していただけるような魅力ある交流活動を推進してまいりたいと思います。

まだ始動して間もない執行部ですが、運営面で次のような幾つかの新機軸を導入しております。まず正副会長が、六七会、東哉会、鵬雲会、翠巒会の還暦前後の4年次に亘っております、これらのアラ還世代が連合して同窓会運営に当たっております。

また、実際の同窓会活動に際しては、総務、企画、広報、HP、交流の5つの委員会を発足させ、多くの会員の方に参画していただき、それぞれ役割を分担していただくこととしております。

さらには、年次会の重要性を強調するため、年次会を代表する役員の呼称を従来の「幹事」から「代議員」へ変更することとしております。(正式には、次回の総会にて会則変更で対応予定ですが、当面は暫定使用。)

このように微力ではありますが、私ども新執行部は今後2年間の任期中皆さまと力を合わせて小さな改革を積み重ねつつ、皆さまに役立つ同窓会活動に注力してまいり所存です。今後のご理解・ご協力を心からお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

東京六七会(山東17回・昭和42年卒) 青柳 桂一

#### ◆ その4 ◆ 奥田前幹事長の退任挨拶

「総会を終えて＝退任挨拶」

去る7/2の総会には大勢の方のご出席をいただき御礼申し上げます。奥山清行さんの講演会、そして交歓会と近年にない盛り上がりでした。重ねて感謝申し上げます。

さて、今回の総会にて役員改選があり、畠山会長に代わり17回青柳桂一さんが新会長に就任いたしました。これにともない幹事長以下のスタッフも入れ替えとなって、私も幹事長職を終えることになりました。長い間ご協力ご支援ご鞭撻ありがとうございました。先輩・後輩方、役員の方、なかんずく副幹事長や幹事の方、高橋筆頭副幹事長兼会報編集長、そして東京東濤会の皆様、そして山形県東京事務所スタッフの方、そして多くの方々、、、、、、こころから御礼、感謝申し上げます。

幹事長職は、約3年半の期間でしたが、東京同窓会に関わったのは、およそ平成2年くらいからになります。先輩方をはじめいろいろな方が思い出されます。自分の人生の中でも大きな期間でありました。考え方も大きく変わったような気がします。

東京同窓会は今年で創立後60年となりますが、いかに継続するか、継続する意義はなにか等々口伝されなんとか新体制に移譲できたかなと思っています。ひとあしんです。

